

令和5年度 輸送安全・交通安全・安全衛生教育計画

飯盛運輸 株式会社
2023.9~2024.8

月	輸送安全	一般教育	安全衛生教育	今月の評価 (A.B.C)	特別教育
9月	自動車点検整備推進運動	【危険物を運搬する場合に留意すべき事項】 運搬する危険物の性状を理解させるとともに、取扱い方法、積載方法及び運搬方法について留意すべき事項を指導する。又、運搬中に危険物が飛散又は漏えいした場合に安全を確保するためにとるべき方法を指導し、習得させる	全国労働衛生週間 ・睡眠、休養について ・ハラスメント対策		初任運転者教育・適齢運転者教育
10月	自動車点検整備推進運動	適切な運行経路及び当該経路における道路及び交通の状況 当該貨物運送事業に係る主な道路及び交通の状況をあらかじめ把握し、交通事故の実例又は衝突等のおそれ(ヒヤリ・ハット)の実例を説明する等により運転者に理解させる。特に、冬道における安全運行について指導する	・長時間労働の防止と健康障害対策 ・ワークライフバランス		
11月	エコドライブ推進運動	危険予測及び回避並びに緊急時における対処方法 道路状況が運転に与える影響を理解させるとともに、トラック運転手に関して生じる様々な危険について理解させ、危険予知の手法を用いて危険の予測及び回避の方法を根付かせるとともに、必要な技能を習得させ指導する	秋の全国火災予防運動 ・インフルエンザや結核など感染症の予防 ・ストレスチェックの活用		
12月	年末年始安全総点検	運転者の運転適正に応じた安全運転 適正診断の結果に基づき個々の運転者に自らの運転行動の特性を自覚させる。また、運転者のストレス等の心身の状態に配慮した指導をする	年末年始無災害運動 ・交通事故予防 ・つまずき、転倒災害の防止		
1月	改善基準の確認の実施	交通事故に関する運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 長時間連続運転等による過労及び飲酒等の生理的要因並びに慣れ、自分の運転技能への過信による集中力の心理的要因が交通事故を引き起こす恐れがあることを理解させる。運転中に疲労や眠気を感じた時は運転を中止し、休憩するか、または睡眠をとるよう指導するとともに、飲酒運転、酒気帯び及び覚せい剤等の使用禁止の徹底について、焦り・イライラ・疲れの状態にある運転者は普段とは違う精神状態にあることを理解させる	・アルコールとの上手な付き合い方 ・腰痛対策		
2月	KY教育の重点実施	健康管理の重要性 疾病が交通事故の要因となる恐れがあることを理解させると同時に、健康診断及びストレスチェックの受診性、健康管理の方法などを理解させ、疾病が要因である交通事故事例から心身の健康管理を心掛けていくことの大切さを認識させる	体力作り強調週間 ・生活習慣予防 ・通勤時の災害防止		
3月	車両点検の重点実施	「衝突被害軽減ブレーキ」、「車線逸脱警報装置」などの自動車に備えられている運転支援装置の特性と使い方を理解した運転の重要性について理解させ、装置を過信し、時に至るケースがあることも理解させる。運転支援装置の限界を心得て正しく使用するために、支援装置の限界とメーカーによる 作動等の違いを明確にさせ、支援装置に頼りすぎた運転にならないように指導	春の全国火災予防運動 ・花粉症対策 ・安全衛生教育（役職者向け）		
4月	早朝点呼の立会い実施	トラックを運転する場合の心構え 貨物自動車運送事業は公共的な輸送事業であり、貨物を安全・確実に輸送することができ社会的使命であることを認識させるとともに、交通事故が社会に与える影響の大きさ及びトラックの運転者の運転が他の運転者のトラックによる運転に与える影響の大きさなどを理解させ、トラックの運行の安全を確保するとともに他の運転者の模範となることがトラック運転者の使命であることを指導する	春の全国交通安全運動 ・安全衛生に関する基本知識 ・安全衛生教育（新入社員向け）		
5月	SAS対策の実施	トラックの運行の安全を確保する為に遵守すべき基本事項 貨物自動車運送事業法に基づき運転者が遵守すべき事項及び交通ルール等を理解させるとともに、これらを遵守した安全な運転方法について、これからの逸脱した運転方法に起因する交通事故の実例を説明すること等により、確認させる	健康診断の実施 ・メンタルヘルスケア ・禁煙の推進		
6月	車両点検の重点実施	トラックの構造上の特性 トラックの車高、視野、死角、内輪差 及び制動距離等が他の車両と異なることを確認させるとともに、これらを把握していなかったことに起因する 交通事故の実例を説明し、トラックの構造上の特性について指導する	全国安全週間準備月間 ・食中毒予防 ・脳疾患予防		
7月	指差点呼の重点実施	貨物の正しい積載方法 偏荷重が生じないような貨物の積載方法及び運搬中に荷崩れが生じないような貨物の固縛方法の指導。また、偏荷重が生じている場合、制動装置を操作したときに安定した姿勢でトラックの傾きが大きくなるおそれがあること、停止できない恐れがあること及びカーブを通行した時に遠心力により習得について次の項目に沿って指導	夏期防災防止強調運動 ・健康診断の事後措置 ・熱中症予防		
8月	休憩時間の適正な確保	過積載の危険性 過積載による危険性、運転者に対する罰則、過積載防止のための配慮事項などを理解させ、過積載が引き起こす交通事故の事例により、運転者に危険性の理解を促すとともに指導すること及びカーブを通行した時に遠心力により習得について次の項目に沿って指導	防災週間 ・VDT作業など、職業性の疾病予防 ・生活習慣病の予防		